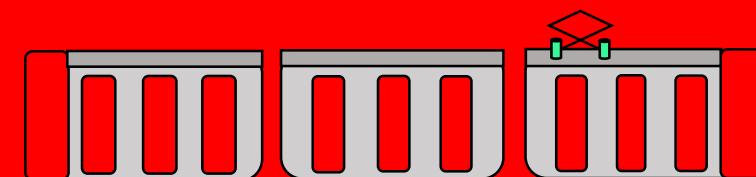


小倉・門司、久留米・荒尾から博多へ。
3両から9両編成まで。多様なニーズに応える

KATO
PRECISION RAILROAD MODELS

赤いオールラウンドランナー

JR九州 813系200番台



身近でお求め易い813系で、
Nゲージを始めよう！



813系200番台3両セット

- 南福岡車両区所属のR223編成をプロトタイプに製品化。
- 前面表示は「門司港」を標準装備。交換用に「大牟田」を別パーツで付属。
- 側面表示は「快速区間 大牟田-小倉／門司港」を印刷済。
- JR九州車両特有の細かいレタリングを忠実に再現。
- 交流電車の特徴である複雑なパンタグラフ周辺の屋根上機器を2色成形(碍子は緑)で再現。
- 客扉部のステップを廃した、腰の低い低床面車体を再現。
- 併結運転を考慮し、トラクションタイヤは非装着。実車同様に6両や9両編成の走行が楽しめます。

JR九州が国鉄から継承した車両の置き換えを目的に、平成6年(1994)に登場した近郊形交流電車です。

JR九州のコーポレートカラーである赤に塗られた前頭部に、銀色のステンレス製車体。車体の随所に散りばめられた細かく美しいロゴの数々も、JR九州車両としての個性を引き立てます。

平成9年(1997)からの10年間、鹿児島本線の北九州・福岡地区の列車増発および在来車両の置き換えを目的に5次車から7次車として増備されたのが200番台で、813系の中では最大両数のグループとなっています。3両を1ユニットに、6両編成(2ユニット)、9両編成(3ユニット)まで活躍しています。

